

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2012年3月30日～2022年3月22日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ・bond・マザーファンドの受益証券
	メキシコ・bond・マザーファンド	メキシコ・ペソ建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。</p> <p>ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# メキシコ・bond・オープン （毎月決算型）

## 運用報告書（全体版）

第43期	（決算日	2015年10月22日）
第44期	（決算日	2015年11月24日）
第45期	（決算日	2015年12月22日）
第46期	（決算日	2016年1月22日）
第47期	（決算日	2016年2月22日）
第48期	（決算日	2016年3月22日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ・bond・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第48期の決算を行ないました。

ここに、第43期～第48期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3147>

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティメキシコ国債 インデックス（円換算）		公社債 組入比率	純資産額
	（分配落）	税込み 分配金	期中 騰落率	（参考指数）	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
19期末(2013年10月22日)	8,682	80	△ 0.9	13,318	△ 1.0	94.3	362
20期末(2013年11月22日)	8,600	80	△ 0.0	13,396	0.6	95.4	496
21期末(2013年12月24日)	8,808	80	3.3	13,900	3.8	97.4	892
22期末(2014年1月22日)	8,526	80	△ 2.3	13,603	△ 2.1	99.1	1,031
23期末(2014年2月24日)	8,392	80	△ 0.6	13,587	△ 0.1	94.6	1,206
24期末(2014年3月24日)	8,367	80	0.7	13,713	0.9	97.3	1,318
25期末(2014年4月22日)	8,535	80	3.0	14,082	2.7	96.7	1,429
26期末(2014年5月22日)	8,581	80	1.5	14,336	1.8	95.1	1,293
27期末(2014年6月23日)	8,629	100	1.7	14,596	1.8	98.4	1,246
28期末(2014年7月22日)	8,549	100	0.2	14,662	0.5	98.0	1,438
29期末(2014年8月22日)	8,599	100	1.8	14,864	1.4	97.0	1,670
30期末(2014年9月22日)	8,775	100	3.2	15,364	3.4	97.3	1,990
31期末(2014年10月22日)	8,330	100	△ 3.9	14,812	△ 3.6	97.1	2,017
32期末(2014年11月25日)	9,089	100	10.3	16,383	10.6	96.5	2,351
33期末(2014年12月22日)	8,525	100	△ 5.1	15,596	△ 4.8	97.0	2,508
34期末(2015年1月22日)	8,388	100	△ 0.4	15,629	0.2	96.9	2,740
35期末(2015年2月23日)	8,147	100	△ 1.7	15,389	△ 1.5	98.2	2,823
36期末(2015年3月23日)	8,013	100	△ 0.4	15,530	0.9	97.2	2,880
37期末(2015年4月22日)	7,762	100	△ 1.9	15,079	△ 2.9	96.4	2,925
38期末(2015年5月22日)	7,797	100	1.7	15,444	2.4	91.5	3,392
39期末(2015年6月22日)	7,710	100	0.2	15,523	0.5	88.6	3,450
40期末(2015年7月22日)	7,405	100	△ 2.7	15,037	△ 3.1	97.4	3,433
41期末(2015年8月24日)	6,783	100	△ 7.0	14,000	△ 6.9	96.4	3,087
42期末(2015年9月24日)	6,585	100	△ 1.4	13,814	△ 1.3	96.2	2,959
43期末(2015年10月22日)	6,690	100	3.1	14,364	4.0	96.1	2,966
44期末(2015年11月24日)	6,766	100	2.6	14,784	2.9	94.0	2,914
45期末(2015年12月22日)	6,335	100	△ 4.9	14,111	△ 4.6	93.5	2,605
46期末(2016年1月22日)	5,550	100	△ 10.8	12,576	△ 10.9	95.5	2,256
47期末(2016年2月22日)	5,346	100	△ 1.9	12,477	△ 0.8	95.7	2,139
48期末(2016年3月22日)	5,484	100	4.5	13,093	4.9	94.3	2,187

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティメキシコ国債インデックス（円換算）は、シティメキシコ国債インデックス（メキシコ・ペソベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

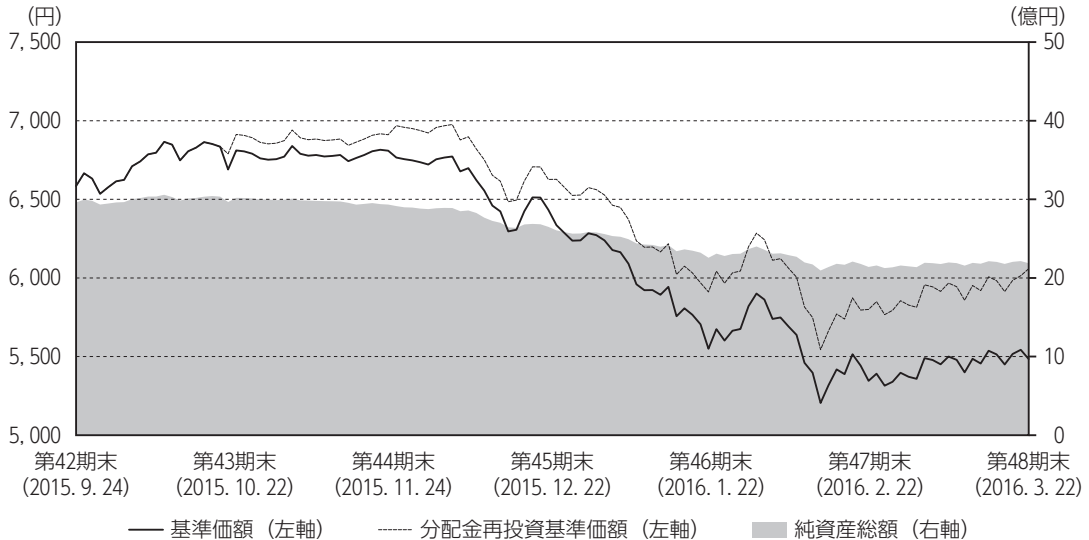
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■基準価額・騰落率

第43期首：6,585円

第48期末：5,484円（既払分配金600円）

騰落率：△8.0%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入は基準価額の上昇に寄与しましたが、メキシコ・ペソが円に対して下落したことは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

メキシコ・ボンド・オープン (毎月決算型)

	年 月 日	基 準 価 額		シティメキシコ国債インデックス (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第43期	(期首) 2015年 9月24日	6,585	—	13,814	—	96.2
	9月末	6,576	△ 0.1	13,867	0.4	96.4
	(期末) 2015年10月22日	6,790	3.1	14,364	4.0	96.1
第44期	(期首) 2015年10月22日	6,690	—	14,364	—	96.1
	10月末	6,756	1.0	14,460	0.7	96.2
	(期末) 2015年11月24日	6,866	2.6	14,784	2.9	94.0
第45期	(期首) 2015年11月24日	6,766	—	14,784	—	94.0
	11月末	6,721	△ 0.7	14,668	△ 0.8	94.5
	(期末) 2015年12月22日	6,435	△ 4.9	14,111	△ 4.6	93.5
第46期	(期首) 2015年12月22日	6,335	—	14,111	—	93.5
	12月末	6,272	△ 1.0	13,862	△ 1.8	93.4
	(期末) 2016年 1月22日	5,650	△ 10.8	12,576	△ 10.9	95.5
第47期	(期首) 2016年 1月22日	5,550	—	12,576	—	95.5
	1月末	5,820	4.9	13,243	5.3	95.5
	(期末) 2016年 2月22日	5,446	△ 1.9	12,477	△ 0.8	95.7
第48期	(期首) 2016年 2月22日	5,346	—	12,477	—	95.7
	2月末	5,371	0.5	12,528	0.4	92.6
	(期末) 2016年 3月22日	5,584	4.5	13,093	4.9	94.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について****○メキシコ債券市況**

当作成期間の前半は、米国での利上げ観測の高まりを受けてメキシコでも利上げ観測が高まり、金利は上昇しました。メキシコ中央銀行は、2015年12月に米国での政策金利引き上げに追随して政策金利を0.25%ポイント引き上げて3.25%としました。当作成期間の後半は、原油安に伴う通貨安が将来的に物価上昇へと波及することを警戒したメキシコ中央銀行が2016年2月に臨時会合を開催し、政策金利を3.25%から3.75%へ引き上げる決定を行ないました。メキシコ中央銀行による臨時の政策金利引き上げを受けて、短期金利は上昇しました。しかし、同時に政府が原油価格の下落による歳入見通しの減少に対する歳出削減策を発表したため、長期金利は低下に転じました。

**○為替相場**

メキシコ・ペソは、米国の利上げ観測の高まりを受けた新興国通貨安や原油価格の下落を背景として、対円で下落しました。2016年2月にはメキシコ中央銀行が臨時の政策金利引き上げを発表し、政府が歳出削減策と合わせてこれまで機械的な方法で実施してきた米ドル売り介入を廃止して、機動的な対応が可能な直接介入方式にするなど通貨防衛策の強化を発表したことを受けて反発し、それまでの下落を幾分取り戻す展開となりました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」****○当ファンド**

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

**○メキシコ・ボンド・マザーファンド**

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当作成期間を通じて「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

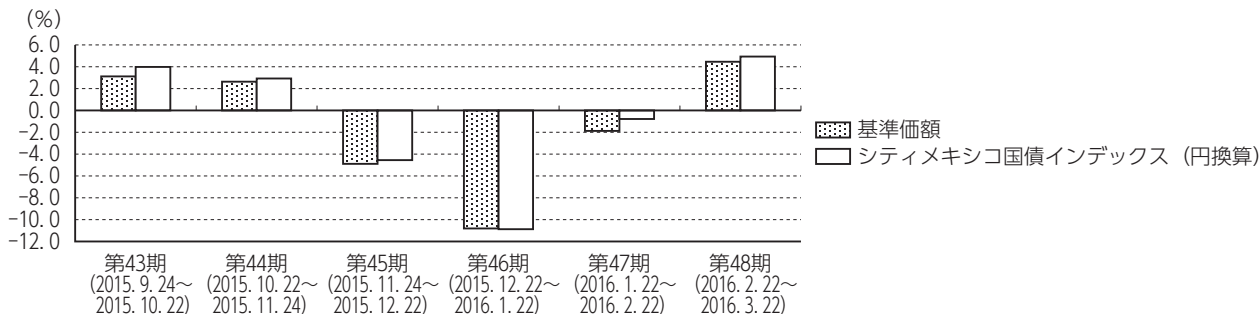
### ○メキシコ・ボンド・マザーファンド

- ・基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.5（年）～6.0（年）程度でコントロールしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

第43期から第48期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2015年9月25日 ～2015年10月22日	2015年10月23日 ～2015年11月24日	2015年11月25日 ～2015年12月22日	2015年12月23日 ～2016年1月22日	2016年1月23日 ～2016年2月22日	2016年2月23日 ～2016年3月22日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.47	1.46	1.55	1.77	1.84	1.79
当期の収益（円）	33	39	28	25	24	28
当期の収益以外（円）	66	60	71	74	75	71
翌期繰越分配対象額（円）	2,782	2,722	2,651	2,576	2,501	2,430

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(a) 経費控除後の配当等収益	33.86円	39.57円	28.62円	25.37円	24.81円	28.62円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,848.56	2,782.58	2,722.39	2,651.10	2,576.50	2,501.39
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,882.43	2,822.16	2,751.01	2,676.47	2,601.32	2,530.01
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,782.43	2,722.16	2,651.01	2,576.47	2,501.32	2,430.01

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○メキシコ・ボンド・マザーファンド

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第43期～第48期		項 目 の 概 要
	(2015. 9. 25～2016. 3. 22)		
	金 額	比 率	
信託報酬	44円	0.708%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は6,188円です。</b>
（投信会社）	(20)	(0.317)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0.370)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	45	0.723	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月25日から2016年3月22日まで)

決算期	第43期～第48期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ・ボンド・マザーファンド	8,377	10,410	454,364	610,348

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当作成期間（第43期～第48期）中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	第42期末		第48期末	
	□数	金額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ・ボンド・マザーファンド	2,179,615	1,733,628	2,169,462	

(注) 単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年10月22日)、(2015年11月24日)、(2015年12月22日)、(2016年1月22日)、(2016年2月22日)、(2016年3月22日)現在

項目	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,017,908,031円</b>	<b>2,966,589,175円</b>	<b>2,659,542,347円</b>	<b>2,304,303,634円</b>	<b>2,183,460,189円</b>	<b>2,234,359,796円</b>
コール・ローン等	74,744,309	52,387,723	63,222,084	78,812,128	52,957,350	60,776,960
メキシコ・ボンド・マザーファンド（評価額）	2,943,163,722	2,904,201,452	2,596,320,263	2,223,411,506	2,129,896,839	2,169,462,836
未収入金	—	10,000,000	—	2,080,000	606,000	4,120,000
<b>(B) 負債</b>	<b>51,646,398</b>	<b>52,201,901</b>	<b>53,989,145</b>	<b>47,445,433</b>	<b>43,492,432</b>	<b>46,672,707</b>
未払収益分配金	44,341,751	43,071,756	41,131,212	40,665,715	40,031,511	39,895,652
未払解約金	3,957,573	5,205,749	9,713,215	3,650,122	616,849	4,175,352
未払信託報酬	3,328,458	3,884,056	3,087,117	3,054,917	2,753,997	2,497,663
その他未払費用	18,616	40,340	57,601	74,679	90,075	104,040
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,966,261,633</b>	<b>2,914,387,274</b>	<b>2,605,553,202</b>	<b>2,256,858,201</b>	<b>2,139,967,757</b>	<b>2,187,687,089</b>
元本	3,103,922,636	3,015,022,981	2,879,184,842	2,846,600,073	2,802,205,836	2,792,695,700
次期繰越損益金	△ 137,661,003	△ 100,635,707	△ 273,631,640	△ 589,741,872	△ 662,238,079	△ 605,008,611
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,434,175,199□</b>	<b>4,307,175,692□</b>	<b>4,113,121,208□</b>	<b>4,066,571,537□</b>	<b>4,003,151,199□</b>	<b>3,989,565,290□</b>
1万口当り基準価額（C/D）	<b>6,690円</b>	<b>6,766円</b>	<b>6,335円</b>	<b>5,550円</b>	<b>5,346円</b>	<b>5,484円</b>

\*第42期末における元本額は3,146,043,188円、当作成期間（第43期～第48期）中における追加設定元本額は91,899,308円、同解約元本額は445,246,796円です。

\*第48期末の計算口数当りの純資産額は5,484円です。

\*第48期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は605,008,611円です。

### ■投資信託財産の構成

2016年3月22日現在

項目	第48期末	
	評価額	比率
	千円	%
メキシコ・ボンド・マザーファンド	2,169,462	97.1
コール・ローン等、その他	64,896	2.9
投資信託財産総額	2,234,359	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.93円、1メキシコ・ペソ＝6.43円です。

(注3) メキシコ・ボンド・マザーファンドにおいて、第48期末における外貨建純資産（2,108,797千円）の投資信託財産総額（2,173,510千円）に対する比率は、97.0%です。

## ■損益の状況

第43期 自 2015年9月25日 至 2015年10月22日 第45期 自 2015年11月25日 至 2015年12月22日 第47期 自 2016年1月23日 至 2016年2月22日  
 第44期 自 2015年10月23日 至 2015年11月24日 第46期 自 2015年12月23日 至 2016年1月22日 第48期 自 2016年2月23日 至 2016年3月22日

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(A) 配当等収益	1,091円	1,927円	2,149円	1,930円	1,840円	7円
受取利息	1,091	1,927	2,149	1,930	1,840	7
(B) 有価証券売買損益	93,072,193	79,818,245	△ 132,823,539	△ 274,861,641	△ 38,961,367	97,322,476
売買益	94,869,615	81,037,624	4,866,050	1,865,102	1,907,650	97,550,003
売買損	△ 1,797,422	△ 1,219,379	△ 137,689,589	△ 276,726,743	△ 40,869,017	△ 227,527
(C) 信託報酬等	△ 3,347,074	△ 3,905,780	△ 3,104,378	△ 3,071,995	△ 2,769,393	△ 2,511,628
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	89,726,210	75,914,392	△ 135,925,768	△ 277,931,706	△ 41,728,920	94,810,855
(E) 前期繰越損益金	△ 633,454,386	△ 539,363,044	△ 454,802,385	△ 593,357,627	△ 866,322,073	△ 911,842,053
(F) 追加信託差損益金	450,408,924	405,884,701	358,227,725	322,213,176	285,844,425	251,918,239
(配当等相当額)	( 1,263,104,668)	( 1,198,509,848)	( 1,119,752,348)	( 1,078,090,132)	( 1,031,412,969)	( 997,946,381)
(売買損益相当額)	(△ 812,695,744)	(△ 792,625,147)	(△ 761,524,623)	(△ 755,876,956)	(△ 745,568,544)	(△ 746,028,142)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 93,319,252	△ 57,563,951	△ 232,500,428	△ 549,076,157	△ 622,206,568	△ 565,112,959
(H) 収益分配金	△ 44,341,751	△ 43,071,756	△ 41,131,212	△ 40,665,715	△ 40,031,511	△ 39,895,652
次期繰越損益金 (G + H)	△ 137,661,003	△ 100,635,707	△ 273,631,640	△ 589,741,872	△ 662,238,079	△ 605,008,611
追加信託差損益金	421,083,794	379,859,082	328,871,488	291,866,763	255,748,133	223,441,592
(配当等相当額)	( 1,233,779,538)	( 1,172,484,229)	( 1,090,396,111)	( 1,047,743,719)	( 1,001,316,677)	( 969,469,734)
(売買損益相当額)	(△ 812,695,744)	(△ 792,625,147)	(△ 761,524,623)	(△ 755,876,956)	(△ 745,568,544)	(△ 746,028,142)
繰越損益金	△ 558,744,797	△ 480,494,789	△ 602,503,128	△ 881,608,635	△ 917,986,212	△ 828,450,203

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：495,908円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,016,621円	17,046,137円	11,774,975円	10,319,302円	9,935,219円	11,419,005円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,263,104,668	1,198,509,848	1,119,752,348	1,078,090,132	1,031,412,969	997,946,381
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,278,121,289	1,215,555,985	1,131,527,323	1,088,409,434	1,041,348,188	1,009,365,386
(f) 分配金	44,341,751	43,071,756	41,131,212	40,665,715	40,031,511	39,895,652
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,233,779,538	1,172,484,229	1,090,396,111	1,047,743,719	1,001,316,677	969,469,734
(h) 受益権総口数	4,434,175,199口	4,307,175,692口	4,113,121,208口	4,066,571,537口	4,003,151,199口	3,989,565,290口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
（単 価）	(6,690円)	(6,766円)	(6,335円)	(5,550円)	(5,346円)	(5,484円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# メキシコ・ボンド・マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2016年3月22日)

(計算期間 2015年3月24日～2016年3月22日)

メキシコ・ボンド・マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	メキシコ・ペソ建債券
運用方法	①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。 ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④外貨建資産の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

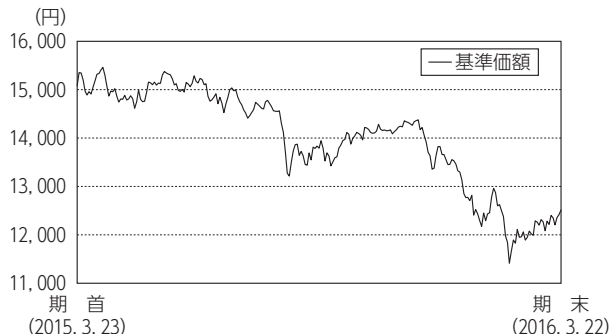
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		シティメキシコ国債 インデックス (円換算) (参考指数)		公 社 債 組入比率
	円	%	円	%	
(期首) 2015年 3月23日	15,078	—	15,530	—	97.5
3月末	14,960	△ 0.8	15,197	△ 2.1	96.5
4月末	14,875	△ 1.3	15,210	△ 2.1	92.3
5月末	15,344	1.8	15,669	0.9	91.0
6月末	14,762	△ 2.1	15,130	△ 2.6	95.4
7月末	14,588	△ 3.2	14,925	△ 3.9	97.8
8月末	13,863	△ 8.1	14,175	△ 8.7	97.9
9月末	13,511	△ 10.4	13,867	△ 10.7	96.4
10月末	14,107	△ 6.4	14,460	△ 6.9	96.7
11月末	14,263	△ 5.4	14,668	△ 5.5	95.2
12月末	13,529	△ 10.3	13,862	△ 10.7	93.7
2016年 1月末	12,780	△ 15.2	13,243	△ 14.7	96.9
2月末	12,020	△ 20.3	12,528	△ 19.3	93.1
(期末) 2016年 3月22日	12,514	△ 17.0	13,093	△ 15.7	95.1

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) シティメキシコ国債インデックス (円換算) は、シティメキシコ国債インデックス (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日 を10,000として大和投資信託が計算したものです。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,078円 期末：12,514円 騰落率：△17.0%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額の上昇に寄与しましたが、メキシコ・ペソが円に対して下落したことは基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

○メキシコ債券市況

メキシコ債券市況は、メキシコと経済のつながりの強い米国の債券市場の動きに連れられて一進一退の推移となりました。米国での利上げ観測の高まりがメキシコの将来の利上げ観測の高まりにつながり、金利は2015年12月にかけて上昇傾向の推移となりました。メキシコ中央銀行は、米国での政策金利引き上げに追隨して2015年12月に政策金利を0.25%ポイント引き上げて3.25%としました。また、その後、原油安に伴う通貨安が将来的に物価上昇へと波及することを警戒したメキシコ中央銀行が2016年2月に臨時会合を開催し、政策金利を3.25%から3.75%へ引き上げる決定を行ないました。

○為替相場

メキシコ・ペソは、中央銀行が為替介入を続けたことなどが下支え要因となる一方で、米国の金融引き締め観測の高まりを受けた新興国通貨安や原油価格の下落が下落材料となりました。中国経済への懸念によって世界的に株価が大幅に調整するなど、市場のリスク回避姿勢が高まる局面では、メキシコ・ペソは対円で下落しました。2016年2月には、メキシコ中央銀行が臨時の政策金利引き上げを発表し、政府が歳出削減策と合わせてこれまで機械的な方法で実施してきた米ドル売り介入を廃止して、機動的な対応が可能な直接介入方式にするなど通貨防衛策の強化を発表したことを受けてメキシコ・ペソは反発し、それまでの下落を幾分取り戻す展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

- ・基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.5 (年) ~6.5 (年) 程度でコントロールしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 ( 3)
(その他)	( 1)
合 計	4

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## 公 社 債

(2015年3月24日から2016年3月22日まで)

		買付額		売付額	
外 国	メキシコ	千メキシコ・ペソ		千メキシコ・ペソ	
		国債証券	162,666	( — )	202,061
		特殊債券	25,230	( — )	( — )

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 公 社 債

(2015年3月24日から2016年3月22日まで)

当 期		期 末	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	230,859	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	430,490
Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2022/6/9	158,457	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	327,728
Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	158,447	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	183,727
Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2020/6/11	156,599	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2036/11/20	182,890
Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	149,519	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2038/11/18	88,190
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.65% 2021/11/24	119,319	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	77,173
Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2029/5/31	91,607	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2029/5/31	74,014
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	84,210	Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2021/6/10	64,669
Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2021/6/10	80,242	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2034/11/23	4,328
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	60,414		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## (1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当 期			期 末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	310,000	320,873	2,063,217	95.1	—	57.8	19.0	18.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# メキシコ・ボンド・マザーファンド

## (2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千メキシコ・ペソ	千円	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	7.2500	50,000	51,204	329,241	2016/12/15
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	10,000	10,607	68,203	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	10,000	13,768	88,534	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	10,000	11,994	77,125	2029/05/31
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	20,000	21,883	140,707	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	10,000	12,106	77,844	2038/11/18
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	20,000	22,094	142,064	2020/06/11
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	10,000	11,192	71,969	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	20,000	20,936	134,622	2022/06/09
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	20,000	22,520	144,807	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	20,000	20,076	129,093	2018/06/14
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	10,000	11,248	72,327	2034/11/23
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	50,000	48,244	310,208	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	50,000	42,996	276,467	2024/09/12
	合 計	銘柄数	14銘柄				
金 額				310,000	320,873	2,063,217	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,063,217	94.9
コール・ローン等、その他	110,292	5.1
投資信託財産総額	2,173,510	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.93円、1メキシコ・ペソ=6.43円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,108,797千円)の投資信託財産総額(2,173,510千円)に対する比率は、97.0%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年3月22日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,247,316,962円</b>
コール・ローン等	61,599,634
公社債 (評価額)	2,063,217,891
未収入金	76,920,000
未収利息	40,880,777
前払費用	4,698,660
<b>(B) 負債</b>	<b>77,926,910</b>
未払金	73,806,910
未払解約金	4,120,000
<b>(C) 純資産総額 (A-B)</b>	<b>2,169,390,052</b>
元本	1,733,628,605
次期繰越損益金	435,761,447
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,733,628,605口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	12,514円

\* 期首における元本額は1,904,081,222円、当期中における追加設定元本額は423,703,545円、同解約元本額は594,156,162円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ・ボンド・オープン (毎月決算型) 1,733,628,605円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,514円です。



## ■損益の状況

当期 自2015年3月24日 至2016年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	175,644,571円
受取利息	175,644,571
(B) 有価証券売買損益	△ 699,466,026
売買益	12,434,503
売買損	△ 711,900,529
(C) その他費用	△ 784,692
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 524,606,147
(E) 前期繰越損益金	966,852,977
(F) 解約差損益金	△ 214,191,838
(G) 追加信託差損益金	207,706,455
(H) 合計 (D + E + F + G)	435,761,447
次期繰越損益金 (H)	435,761,447

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。